

南いわて食クラネット第6回「食のビジネス交流会」へ参加

# 障がい者施設の特長をアピール



岩手県社会福祉協議会障がい者就労支援振興センターでは、2月6日に奥州市のプラザイン水沢で開催された南いわて食クラネット第6回「食のビジネス交流会」（主催・南いわて食産業クラスター形成ネットワーク及び岩手県県南広域振興局）に参加し、障がい者施設の取り組みや技術を紹介しました。

当日は県内の食品事業者、生産者、関係機関等の145名が参加し、食クラネット会員の障がい者施設19施設のうち10施設がブース出展し、1施設が一般参加となりました。

今回の交流会は障がい者施設をメインに取り上げて紹介することで、民間企業と障がい者施設の連携を進めたとの認識のもと、関係機関と準備を進めて

## 食の関係者5145名が参加

きたものです。

交流会のはじめには様々など、ジネス発表が行われましたが、当会の障がい者就労支援振興センターは「福祉事業所との事業者間連携の推進について」というテーマで発表しました。

者就労支援事業所における工賃水準の向上のため、設備や技術の「みえる化」をはかるとともに事業所の得意分野をアピールすることで、ビジネス機会の拡大を図ることを目的に作成して いるものです。

者就労支援事業所における工賃水準の向上のため、設備や技術の「みえる化」をはかるとともに事業所の得意分野をアピールすることで、ビジネス機会の拡大を図ることを目的に作成しているものです。

現在はまだ67施設にとどまつていますが、引き続き紹介施設を増やす取り組みを続ける予定です。

ても多くの方々で活気にあふれていました。

今回参加した施設では、商談へ進んでいる、サンプル提供を受求められている、改善提案を受けているなど、様々なやりとりがありました。問いかわせや質問・相談が多く寄せられ、手ごたえを感じたようでした。

事業所職員からも「このよう

に企業の皆様に直接お話を

い企業の皆様に面接お詫びいた  
だける機会があまりないので、  
大いに刺激を受けた」との声も  
聞かれました。

参加企業からは「障がい者施  
設がこれほどのものづくりがで  
きるとは思っておらず、驚い  
た」との声も聽かれました。

障がい者就労支援振興センター

一方では、今回の各施設の商談内容を把握し、今後の展開を支援していく予定です。

## 南いわて食産業クラスター形成 ネットワークとは

産学官金の連携による「食」を核とした産業クラスターを形成することにより、地域産業の活性化に資することを目的に平成19年に設立しました。

現在、県南地域を中心とした267の団体・個人の方々が会員となっています。

## お問い合わせは

障がい者就労支援振興センターまで  
☎019-601-7027